

■日程 11月10日(木)

■場所 長狭学園体育館

■参加人数 72人(区長等11人、一般市民34人、一般傍聴職員15人、市議会議員12人)

質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
1 【チョイソコ鴨川の継続について】 「チョイソコ」の継続についてお願いしたい。地区社協や地区の努力が一番大事だと考えているので、主基・大山・吉尾地区にトヨタさんが作ってくれたチラシを全戸配布したり、高齢者などにはロコミなどでもしっかりと伝えている。先日開催された公共交通の地区別説明会でも、会員は増えていてもチョイソコの財政状況が大変厳しいという話があった。私たち地区の住民が一層努力するとともに、行政でもさらなる財政上のご配慮をいただけたら。	企画政策課長	チョイソコについては、千葉トヨタさんのご英断をいただき、来年度も実証運行が継続されます。現在市では、市民の生活に必要な路線バスの維持のため、乗合バス事業者を対象に、生活路線バス維持費補助金を交付しておりますが、チョイソコ鴨川についてはその補助金の対象とはなっており、来年度についてはこの補助金による財政支援の予定はありません。ただ、市民皆さんの利用促進のための活動や、色々な企業もパートナーとして金銭的な支援をしている状況も踏まえ、市としても何かしら支援が行えないか、検討しております。引き続き、チョイソコ鴨川が継続できるように、市としても努力してまいります。
2 【緊急車両の入れない道路の情報周知、改善について】 鴨川は山が多く、道が細くて救急車が入らない道がある。安房消防署に高機能の救急車を配置したと聞いたが、もう少し小型の救急車や緊急車両を用意するなど必要なのではないか。山道に救急車が入れないことを、狭い道があるということ、ハザードマップに記載してはどうか。緊急車両が入れるような対策と、もし入れない時の対策としてはどうするのか考えていただきたい。	都市建設課長	道路整備については、各地区の区長さんからの要望をいただき、地元の皆さんと協議しながら優先順位を決めて整備を進めております。道路を広げるには、さまざまな手続きもあるため、すぐには進みませんが、要望をいただいたところから舗装や側溝を入れ替える事業を少しずつ進めている状況です。今後そのような要望があれば、地元と協議して進めて取り組んでまいります。
	危機管理課長	今年度、各地区にハザードマップ(防災マップ)を配布しました。市内が広く、鴨川・長狭・江見・天津小湊の4地区に分けて土砂災害や避難所などの情報を載せている状況なので、「道が狭い」といった情報は、地図の大きさに限界があり、掲載はしておりません。危険な道や奥に入りづらい等ご意見があれば道路標識を設置するなど、警察と呼び掛けて対応してまいります。土砂災害で交通経路が閉鎖されたなどといった部分については市のホームページなどでもお知らせしております。通れない道の入口には、この先には土砂災害があるなどといった周知や危険を防止する対策も行っています。
	副市長	他地区でも消防車が入れないという道路の拡幅依頼をいただくことがあります。まずは地域の現状を見せていただき、生活道路としてそういったものが可能であれば広げていくが、入らないのであれば、その情報を消防署などに伝えていきたいと考えております。
3 【市長コラム「ちょっと一言」について】 広報かみがわで「市長のちょっと一言」が始まったが、なかなか楽しい。(ご意見) 【国保病院の抱えている問題について】 国保病院にワクチン接種に行ったら、大変スムーズに進んだ。国保病院は随分進歩したと感じた。国保病院の課題はあると思うが、今抱えている問題について伺いたい。	国保病院事務長	国保病院については、昨年建物が新しくなり、今年度、医師・看護師も増えました。70床あり、全床、患者さんを受け入れ可能となっている状況の中、病床稼働率は今年4月に68.5%、9月には92.1%と、多くの患者様を受け入れていくことができいております。これからもこの状態を継続的にしていけることが課題と考えています。医師やスタッフの確保が難しくなることもあるので、これからも努力してまいります。

質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
<p>【池田地区のメガソーラーについて】 メガソーラーについて楽天信託という会社が興味を示している、またその後撤退したという話を聞いた。外国資本が出てくるのではという噂もある。メガソーラーの問題はどうなっているのか聞きたい。</p>	環境課長	<p>メガソーラーの事業については、現在休止状態となっております。この事業は「林地開発行為」で、千葉県森林課の確認があります。この事業がどう進むのか、千葉県が実際確認している状況の中で、ご指摘いただいた楽天、外資等々の話については具体化していないと捉えております。市に具体的な相談もございません。</p>
<p>【50年後の市長の夢について】 小学6年生に鴨川の50年後はこうなっているんだよ、といった市長の夢を語ってもらいたい。</p>	市長	<p>50年後どうしたいかということについて、「今を大事にする、未来を大事にする」街づくりを進めてまいりたい。今というのは、現在皆さんから頂戴している、市民会館をどうする、農業をどうする、家の前の道がデコボコだ、こうしたものをしっかりと解決することが、今を大事にする街づくりにおいては極めて大事なことであると考えております。子どもたちに将来の鴨川にしっかりと根付いて住んでもらうにはどういう夢をもってもらったらいいのか、これをしっかりと語る大人になりたいと思っております。鴨川には海があり、山があり、川があり、素晴らしい自然があります。こうしたものを大切にできる街づくり、将来に向けてこうしたものの大切さがしっかりとわかる子どもたちを育てていきたい。多様な価値観をしっかりと共有できる街になったらいいなと思っております。優しい心、温かい心をもった人たちがあふれる街になったら素晴らしい街になっていくだろうと。今やらなければいけないことは何なのかを見据えながら、大事にしながら、未来を見据え、未来にしっかりと責任を持てる私たち大人でありたいという気持ちで、街づくりを進めてまいります。</p>
<p>4 【国保病院の対応について】 民生委員をしており、高齢者と接する機会が多い。その中国保病院について感謝の気持ちを申し上げる。訪問看護ステーションのスタッフの方々がとても親切で丁寧に高齢者に接して下さる。特に、ケアマネージャーさんにはよくしてもらったというお話も聞いている。地域包括支援センター長狭が今年初めてできたことで、とても助かっている。受付の方は、高齢者が最初に接する方なので、もう少し笑顔で明るく優しく接してほしい、という話も伺っている。</p>	国保病院事務長	<p>建物が新しくなり、建物だけでなく職員のサービスも向上していかなくてはならないと考えております。朝は受付が混み合うので、他部署から職員をヘルプで入れ、受付や案内の手伝いをしております。病院の中でプロジェクトチームを立ち上げており、これから病院を良くするにはどうしたらよいか検討していますので、ご指摘のありましたことについても検討し、取り組んでまいります。</p>
<p>5 【市職員の公用車での事故について、安全運転憲章の明文化について】 市の職員による公用車を使った交通事故が多いと聞いている。安全運転憲章のようなものを鴨川市の方で作ってくれないかをお願いした。それに対して鴨川市の方では作りませんという回答だったが、なぜ作らないのか理由が聞きたい。</p>	総務課長	<p>職員の交通安全に関する取り組みについて、所属長は職員に安全運転をするように常日頃指導させていただいております。それに加え、毎年11月から12月の間に警察の方をお招きし、交通安全に関する講習をお願いしており、この講習を毎年実施することにより、交通安全に対する意識の向上を図るという取り組みを実施しています。運転免許証の更新は交通安全協会の講習を聴き、そこで交通安全に対する意識の向上が図られているものと考えております。</p>

質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
<p>6 【市の財政について】 「強い鴨川づくりに向けた財政等適正化方針」の中に、投資的経費について年間14億程度という数字を見た。令和6年度27億3,500万、前期に比べて8億7,400万と大幅に増加している。理由を示してもらいたい。投資的経費は節減して、3億円を目標としているが、こういった大幅な投資的経費は、計画終了をもって凍結すべきではないか。十分見直したうえで凍結をしてはいいかがか。</p>	<p>財政課長</p>	<p>令和6年度の投資的経費は、例年14億円をベースとして考えていて、「合併特例債」を活用する事業を実施するという前提で加算をしております。合併特例債とは、合併した市町村のみが発行できる極めて有利な財源で、発行限度額と発行期限が設定されています。本市の場合、現時点で合併特例債を発行できる残額が12億5,000万円、発行期限が令和6年度までと決められています。合併特例債を活用し、期限となっている令和6年度にこの事業を仮にすべて実施するという前提で加算をし、推計しているものです。</p> <p>また、事業の中で1億円以上の大規模なものを凍結することのご指摘については、先ほどの合併特例債は、通常の地方債ではなかなか実施することができない、ある程度大きな規模の事業を実施することができるもので、本市のように財政力が乏しい自治体には非常に有利な財源となっております。そのため、この事業を活用することによりさらなる地域活性化事業が実施できるという側面があることから、現地点において、これらを活用するという前提で発行の最終年である令和6年度に事業を加算している状況であります。</p>
<p>7 【公民館の再編について、地域のコミュニティづくりについて】 今後の公民館については、生涯学習と一緒に市民課の業務もあると思うが、地域づくりの機能を公民館の中に持たせてほしい。地域も頑張っていくので、市もアドバイス、助言、コンサルティングのようなものをお願いしたい。今後チョイスを根付かせていくためにも、事業者だけに頼らず、地域と行政、みんなで力をあわせていかないといけないので、事務局機能みたいなものを地域に位置付け、一緒に地域のことを考えていただけるような体制づくりを築いてほしい。</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>今までパブリックコメントなどでご意見を聴取している中で、公民館は生涯学習・社会教育の場であるということとともに、地域コミュニティ形成の貴重な場であるというご意見も多くいただいております。今後は再編に向けて利用者皆さんのご意見・ご要望を聞き、調整し、なるべく多くの方が納得して公民館を利用いただけるように進めてまいります。地域コミュニティの核としてこれからどういう組織が作れるのか、地域の方に親しまれて愛されるような公民館を作っていければと考えているので、ご協力をいただければと思います。</p>
<p>8 【魅力ある鴨川について】 ①草刈り、農業をやる人は70歳以上がとても多い。農家として認定も今後規制緩和していくことが必要ではないか。魅力ある農業というものをどのように捉えているか伺いたい。 ②そのほか、他市では、オーガニックシティ宣言、フェアトレード宣言などを行っているが、魅力あるポテンシャルのある鴨川について、どう発信していくのか。</p>	<p>農林水産課長</p>	<p>①農業の担い手・後継者不足は、全国的な問題として捉えております。市では、国の事業である中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度などを活用しながら事業を行っていますが、抜本的な解決には至っておりません。しかし鴨川市には大山千枚田をはじめ、川代の柿ノ木代棚田が千葉県では唯一「つなぐ棚田」に選ばれている地域であり、オーナー制度も都市と農村の交流という点で活性化しています。若い人の力を借りながら、これからも魅力ある農業に繋げていきたいと考えております。また、鴨川市は有害鳥獣が非常に多く、こちらの対策にも頭を悩ましていますが、捕獲従事者も同じように高齢化、後継者不足が続いております。今回、地域おこし協力隊として、外部から若い方の力を借りて活性化を図っていこうと考えています。今後も様々な施策、魅力ある農業について、地域の方と話し合いながら進めてまいります。</p>
	<p>市長</p>	<p>②鴨川の魅力をどういった形で発信したらいいのかということについて。鴨川には誇れるものがたくさんあります。長狭米、素晴らしい歴史、スポーツを可能とする施設、観光施設。これらを基盤に、しっかりと発信できる交流のある街づくりをしたいと考えています。先日「ゼロカーボンシティ宣言」をしましたが、これにより、街がどう変わっていくのか、日本がどう変わっていくのか、これも誇れる街づくりに繋がっていくだろうと思います。みんなで実践することにより、住みよい街になっていくだろうと考えております。</p>

質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
<p>9 【市民会館の整備について】 資料に「新たな施設の整備について道筋をつけるため具体的な整備方針の検討を進める」とあるが、去年と全く同じ。全然進んでいないということか。</p>	<p>企画総務部長</p>	<p>現在市では、施設整備に向けた道筋をつけるため、具体的な整備方針の検討を行うこととし、進め方について定めております。去年はプロジェクトチームまでには至らなかったが、担当課での下調査的なことは進めておりました。これから庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、調査研究を進めてまいります。</p>
	<p>市長</p>	<p>街づくりを進めていくうえで優先順位というものがあり、市民会館のほかにも学校、認定こども園の老朽化、課題なども出てきております。しっかりと皆さんと話し合いながら優先順位を付けながら、課題に取り組んでまいりたいと考えております。市民会館を取りやめた、ということではありません。今やらなければいけないことは何なのかを見据えながら、大事にしながら、街づくりを進めてまいります。</p>